



小沢良一 tel 992-0875 fax993-8141 深良27-2

http://www16.plala.or.jp/ozawa_ryouiti



岡本和枝 tell/fax 992-5174 茶畑 854-3 E101

peace_love_cabird@yahoo.co.jp

明るい裾野

困ったことがあったら小沢、岡本のなんでも相談へ

裾野市議会 6月議会

6月議会の一般質問は、15日(金)から20日(水)にかけて行われます。

- ◆ 15日(金)は、二宮善明、岩田広行、佐野利安、三富美代子の各議員。
- ◆ 18日(月)は、増田喜代子、大庭敏克、渡部昭三、小沢良一の各議員。
- ◆ 19日(火)は、勝又明、岡本和枝、杉本平治、土屋秀明の各議員。
- ◆ 20日(水)は、賀茂博美、内藤法子、小林俊の各議員。(敬称略)

市長の提出した、「専決処分の承認、手数料条例の一部改正(建築確認関係手数料について)、駐車場条例の制定、市道路線の認定、補正予算(第1回)」等の議案は6月21日(木)午前10時から審議・議決します。



小沢良一議員は、18日(月)の午後2時頃
岡本和枝議員は、19日(火)の午前1時頃
の見込みです。

小沢良一議員の一般質問

1. 震災がれきの焼却処分

震災がれきの処分問題で震災地の復旧復興の妨げになっているとして、現地処理促進を求めているが、それでも処分できないものを広域処理として静岡県は国からの要請に応じることにした。島田市、裾野市は試験焼却をして本格的焼却に進もうとしている。

一方焼却処分に協力したい自治体の中には焼却灰の埋め立て問題で暗礁に乗り上げているところも出てきている。

- 1) 県市長会の一員として、裾野市長は、この問題をどう考え、どう行動しようとしているのか伺う。
- 2) 県市長会・町長会は、県に最終処分場の確保を要請してきた経緯があると思うが、この件はどうなったのか伺う。

2. 子育て日本一と子ども医療費負担

(詳細 略)

3. 歳出の見直し

(詳細 略)

岡本和枝の一般質問

1. 裾野駅西区画整理事業について

- 1) 6月上旬より、地区権利者説明会に入り意見を聞くとのこと
- 2) 「地域商店街の現状」「地権者の生活不安」「地域人口の減少」などについて、事業監視委員会へどのように報告されたか。
- 3) 報告書では、当初の事業目的は引き続き達成を図るとあるが、少子・高齢化地域の中で、計画人口約1,200人設定は変更ないか。
- 4) 「幹線系都市計画道路の配置、幅員は変更しない」とのことだが、「駅西に広い道路はいらぬ」が世論ではないか。なぜ変更しないのか。
- 5) 地区権利者の意見を聞くとは、事業への意向調査になるのか。「意見」とは、どの範囲までを言うのか。区画整理事業から除外して欲しい人は除外されるのか。

2. 放課後の子どもの居場所づくり「放課後子ども教室」について

(詳細 略)



3. 地域防災計画に「放射能災害対策」の位置づけを

(詳細 略)

震災がれき 放射能問題への 考え方と具体的提案 岡本裕市

「明るい裾野」掲載の震災がれき・放射能問題の記事へのご意見が3件寄せられています。これらへのご返事と、3月末から裾野市に対して具体的な提案を行ってきていますので、その報告をあわせて行います。

震災がれき・放射能問題

● まず、この裾野地域は「非汚染」地域ではないという認識です。昨年3～5月の裾野のデータがないのが残念ですが、昨秋の数値は現在より高い(裾野市危機管理監大内氏がデータを提示してくれます)。富士山5合目でもセシウムが検出されています(頂上では無し)。京大の河野益近氏が島田市で行った松葉によるセシウム測定では「福島第一原発事故からの放射能を直接浴びた2010年葉は、直接の影響を受けていない2011年葉に比べて放射能が10倍ほど高い」と言っています。島田では、去年は10倍の濃度だったと言っているのです。

● 「安全かどうかは土壤汚染のレベルが決める。空間線量で判断するのは体制側の情報操作イデオロギーに引っかけられている」とのご意見です。地表面・地上50センチ・地上1メートルで測るのはデータをとる統一した基準として必要なものです。線量は距離の二乗で減少しますので、そのことを理解していれば空間線量を測れば土壤の汚染は簡単に推計できます。科学的なデータ取りに対して「体制側の情報操作」などというのは根本的な

間違いです。セシウムは水に溶けやすいので、どんどん深いところへ移動しています。地下水汚染が怖いところ。

● 「拡散予測図では実態ではないので判断できません」とのこと。客観データを集めた上での予測、が科学です。拡散予測は、微気象・地形などのデータを織り込んだ予測です。朝日新聞連載の「プロメテウスの罠」で福島第一原発2号機が破損した3月15日に浪江町山間部の3カ所のピンポイントに調査に入るように言われ、赤生木で毎時330 μ Svを検出。この3カ所を指定したのは SPEEDY (スピーディ) です。

● 「セシウムの沸点は低く、燃焼することで気化して拡散します」のご意見です。これは、現在のダイオキシン対策の進んだ仕組みを知らないことからくる誤解だと思います。金属であるセシウムは確かに671℃で気化します。気体はバグフィルターでも電気集塵機(静電気吸着)でも捕まえることは困難でしょう。しかし、ダイオキシン対策をきっちり行い運転している焼却炉なら、燃焼炉のすぐ後で飛灰も焼却灰も水を散布して200℃以下に急冷しています。これは、煙道を通して冷えていく中で350℃～250℃でダイオキシンが発生(デノボ生成)するのを防ぐために急冷しているためで、セシウムもほとんどが金属固体に戻っているはず。今回の試験焼却の飛灰は1,700kg、焼却灰は2,500kgです。40トンを燃やして4.2トンになったということ。私はこの飛灰の量に驚きました。昔の焼却炉と比較するととんでもない大量です。裾野は電気集塵機で

すが、飛灰を非常に良く吸着しています。一度、煙突から出る煙を眺めてください。煙突から出てすぐ消えるのは水蒸気。たなびいて流れていくのが煙です。付け加えて言いますと、焼却炉から下へ落ちたのが焼却灰、煙突へ向かって電気集塵機やバグフィルターで捕まったのが飛灰です。昔の焼却場は飛灰を煙突からまき散らしていましたが、今は吸着捕集しています。

● 「陸前高田市長は、がれきは現地で処理する、と言ったが国は取り合ってくれなかった。復興事業として現地でやった方が雇用の促進になる」と言うご意見もありました。

戸羽太陸前高田市長が1年前に言ったことを都合良く使っておられる方が多いようですが、戸羽市長は、「現在でも広域処理反対の方の中に、被災地の雇用のために被災地内で瓦礫処理を!』とおっしゃられている方がいます。被災地の人間をなんだと思っているのでしょうか? 人として、この発言だけは許しがたい。少なくとも第三者には言われたくない言葉です。言いたいことは山ほどありますが、今日はやめておきます!』と書いています。ブログ等を検索してみてください。

◎ 以上を踏まえて、裾野市に対して次の提案を行ってきました。

① 焼却場からの煙は、「煙突の高さ300m、風速0.5m/sの場合1km先に降りる」ので千福が丘だけでなく葛山 富岡地区も測定対象地区にした方がいい。

② 震災がれきへの途中混入を防ぐため、山田町でコンテナを封緘し、裾野で封緘を切る。封緘が切られていたら受け取らない。

③ 焼却炉のより一層の安心 安全の担保のために、「ゼオライト(陰イオン)」によるセシウム(陽イオン)吸着装置をつける。ゼオライトは安価(1kg 50円)ですが非常に良くセシウムを吸着します。

④ 地下水汚染のない、雨水の入らない「遮断型最終処分場」を県内の東部・中部・西部・伊豆に設置すること。国の尻拭き事業なので、当然国が安心 安全の担保として行うこと。旗振り役の川勝知事は先頭に立って国と交渉すること。これら遮断型最終処分場ができるまで、旧春野町にある県内唯一の遮断型最終処分場を仮置き場として利用すること。遮断型最終処分場は現在では全国にあり北海道には100メートル×300メートルもの巨大な施設も稼働しています。

◎ これら提案のうち、①と②は既に実行されています。③と④はまだ実行されてはいません。



みんな手弁当で参加



ほぼ3面できました。全部完成すると10数面になります。



韮山の山の上で 手作り 市民共同太陽光発電所

手作りの市民共同太陽光発電をつくる、と言うので韮山の山の上に取材に行ってきました。裾野の深良にもグループの発電所があるそうです。



まずは一枚目

裾野市探訪

と き : 6月24日(日)

9時 裾野市役所出発

14時半裾野市役所帰着(予定)

ところ : 市内のあちらこちら

参加費 : 2000円(昼食代・入館料・バス代)

申し込み お問い合わせ先

庄司恒夫 992-2732

小沢良一 992-0875

岡本和枝 992-5174